

本日のプログラム

例会 第2766回

- 1.開会点鐘
- 2.ロータリーソング
- 3.ビジター紹介
- 5.会食
- 6.会長挨拶
- 7.幹事報告
- 8.出席報告
- 9.スマイルBOX
- 10.卓話：平間章弘君
- 11.閉会点鐘

例会の予定

- ・6月7日(金)
卓話：櫻井武志君
- ・6月14日(金)
卓話：石倉幸久君
- ・6月21日(金)
家族親睦会
- ・6月28日(金)
クラブ協議会



会長挨拶

先週は5月だというのに、30度越えになり熱中症にかかる方が多かったようですが、みなさん体調がいか

がですか？

室内に居ても熱中症にかかりますので、水分補給は十分にとってください。

佐藤泰文会員の葬儀の詳細が決まりました。

6月13日(木)通夜 17:00～ 14日(金)葬儀 10:00～

ロータリークラブの受付を設けますので、宜しくお願いします。

さて、今月の「ガバナー月信」から「クラブ紹介」に第9グループが載っております。是非、お時間ある時にご覧ください。

約1年間、第9グループ会長幹事との学びと親睦を深め、最終回は湯河原温泉で「癒しと友情」をテーマに締めくくります。

そろそろIM実行委員会も稼働し、当クラブはホストになります。

私も会長から引き続き、IM実行委員長としてみなさまのご協力を宜しくお願いします。



幹事報告

<国際ロータリー日本事務局より>

1. 6月のロータリーレート 1ドル110円

<次年度ガバナー補佐事務局より>

1. 中谷現ガバナー補佐と瀬戸次年度ガバナー補佐の例会に何う日程をお知らせいたします。 6月28日(金)に伺います。

<連絡事項> 無し

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	会員 23名
	欠席 4名(免除者0名)	前回の修正出席率	91.30%
	出席率 82.61%	前々回の修正出席率	90.48%

事前メイクアップ 1名

第2780地区 第9グループ

湯河原 ロータリークラブ

会長 石田 浩二
幹事 小倉 高代

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上
湯河原町宮上 566
湯河原町温泉観光協会内

例会場 静岡県熱海市泉 107
ニューウェルシティ湯河原
例会日 毎週金曜日 12:30～13:30



平成31年5月31日(金)

天候 晴れ

合唱 我らの生業



国際ロータリー2018-19

RI会長 バリー・ラシン

第2780地区

ガバナー 脇 洋一郎



インスピレーションになろう

・南谷桂子君

去る5月29日(水)、2018年度フランス農事功労章の叙勲式が在日フランス大使館経済部農務次官出席のもと盛大に行われました。「21世紀のシェフたち」や「パリのビストロ職人」などフランスの食に携わる人たちの日常の葛藤をつづった拙著や、半世紀近いフランスでの取材活動が認められ、私もシュヴァリエ勲章をいただくことができました。その重みに負けないだけの活動を今後も続けていかねばと背筋がピンとする思いです。

・高杉尚男君

お世話させて頂いた千代田荘(野口観光さん経営)が明日より再オープンいたします。おめでとうございます。(職業奉仕より)

・室伏学君

5月27日、湯河原温泉旅館協同組合の総会を開催しました。

・高知尾朝行君・石田浩二君

5月25日(土)、湯かけまつり無事終了しました。

卓話：平間 章弘君

2019年国際協議会報告

1.日程 2019年1月13日(日)~18日(金)

2.場所 サンディエゴ(米国 カルフォルニア州)

3.2019-20年度国際ロータリー会長

Mark D. Maloney(アメリカ第6860地区ジケーターロータリークラブ所属)

Mark D. Maloney 会長エレクトは、アラバマ州北部のジケーターにある Blackburn, Maloney, および Schuppert LLC の法律事務所のメンバーで、課税、遺産計画、および農業法の分野の仕事をしています。

生年月日等の詳しい経歴は発表されていないようですが、ハーバード大学卒業後、奥様のゲイさんの実家であるディケーターの法律事務所で仕事を始めたとのこと。

ロータリー歴は、1980年、25歳でジケーターロータリークラブに入会。30歳でクラブ会長。1989~90年に(34歳で)第6860地区ガバナー。1999年~2001年国際ロータリーの理事。2004年~08年ロータリー財団管理委員。2014年シドニー国際大会での大会委員長等々を歴任しています。

マークの奥様のゲイは、同事務所の弁護士であり、アラバマ州ジケーター・ディブレイク・ロータリークラブのチャーター会員であり元会長です。

4.2019-20年度のテーマの発表マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー会長エレクトは、より力強いロータリーを築くためのビジョンを発表し、地域社会とのつながりを広げるために、革新的な会員モデルを導入していくことをクラブのリーダーに呼びかけました。そして、2019-20年度の会長テーマ、「ロータリーは世界をつなぐ」を発表しました。

そして4つの強調事項をあげました。

「ロータリーを成長させる」

最初の強調事項はロータリーを成長させることです。私たちの奉仕活動やプロジェクトのインパクトを成長させること、また、最も重要なのは、これからより多くのことを達成するために、会員を増やすことです。

ロータリーでの経験の中核にあるのは「つながり」であるとマローニー会長エレクトは信じています。

ロータリーは、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、職業上の機会、私たちの支援を必要とする人たちのつながりをもたらしてくれます。

地域社会にいる人びとのグループ、役職、職業のうち、クラブに会員がいないのはどれか? 見つける必要があります。

そのためにはあらためて「職業分類制度」を再発見し、活用する必要があります。

また、会員モデルをつくり、ロータリー入会への新しい道をひらき、既存のクラブが既存のニーズをかなえていないところで新しいロータリークラブとローターアクトクラブをつくるのです。

「家族の重要性を強調」 INVOLVE OUR FAMILIES

会長エレクトはさらに、忙しい職業人や家族の都合でも忙しい会員にもリーダーの役割を果たしてもらえよう、さまざまな例会の内容や奉仕プロジェクトの機会を提供するよう促しました。

ロータリーでの活動と家族との時間が競合せず、互いに補完し合うような文化をつつていく必要があります。

これには、現在の文化を変えるための現実的なステップを取ることで、つまり、期待値を現実的に受け止め、スケジュール作りを熟考し、すべてのレベルのロータリー行事に子どもを受け入れることを意味します。

私たちが最もロータリーに必要とする人びと、すなわち、地域社会に貢献したいという若い職業人たちの日常的な現実を無視したままでは、ロータリーの平均年齢を変えることはできません。人生の段階の途上にある若い世代を、ありのままに迎え入れる必要があります。

「内部組織の改革」

BUILD A VIABLE PATH TO ROTARY LEADERSHIP

忙しく仕事をしているロータリアンもロータリーのリーダーとなれるようにするにめの道をひらくことです。ロータリーで会員がリーダーとなることを阻む障壁は、時代遅れの期待に基づくものです。

適応し、文化を変えるときが来ています。全クラブを個別に訪問しなくても優れた地区ガバナーになれる、また、全部一人でこなさなくても優れたクラブ会長になれる

というメッセージを伝えるときが来ているのです。

地区でまたクラブで、リーダーシップの文化を変え始めてください。

これら 3 つの強調事項はすべて、組織内部の健全さ、すなわち、ロータリーの成長を可能とする構造と機能に焦点を当てています。しかし、ロータリーは地域社会から孤立している存在ではありません。ロータリーは、それが奉仕する世界に存在するのであり、世界をつなぐために奉仕しています。
ユニークなネットワークを駆使するロータリーを通じて私たちは、人類の素晴らしい多様性につながり、共通の目的において永く続く深い絆を創り出します。世界がこれまで以上に分断する今日、私たち全員をつなぐのはロータリーです。

「国連との関係」

4 つめの強調事項は、長年にわたるロータリーと国連との歴史的な関係に焦点を置いています。2020 年はロータリーの 115 周年にあたり、国連はその歴史的な設立から 75 周年を迎えます。2019-20 年度、ロータリーは世界中で会長主催会議を主催します。この焦点は、国連との関係と、多くのロータリー奉仕プロジェクトが支援する国連の持続可能な開発目標です。詳しい情報は、7 月に発表されます。

ロータリーは、国連憲章につながった 1945 年のサンフランシスコ会議で相談役を務めるために米国が招いた 42 の組織の一つでした。それから何十年もの間、ロータリーは世界中の人道課題に取り組むため、国連と共に活動してきました。国連は今日、ロータリーに対し、非政府組織の相談役に対して与える中で最高の立場を認めています。マローニー会長エレクトは次のように述べました。「ロータリーは、より健康で、平和で、持続可能な世界に対する国連の継続したコミットメントを共有しています。

また、ロータリーはほかの組織にはかなわないものを提供します。それはつまり、奉仕と平和という精神の下に世界中の人びとがつながることができ、目標に向かって意義ある行動を起こすことのできるロータリーのインフラです」

ロータリーのビジョン声明は、「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」私たちは行動人です。世界を変えたいと望むだけでなく、インスピレーションを持続可能な真の変化に変える力が、私たちにはあります。その力は、私たち自身、また、私たちの活動を可能とするロータリーという土台があるおかげです。ロータリーを通じて、私たちはつながります。

5.2019-20 年度テーマ

「ロータリーは世界をつなぐ」

ROTARY CONNECTS THE WORLD

2019-20 年度には、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で 思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。

第 2780 地区方針

2019-20 年度

第 2780 地区ガバナーエレクト

杉岡芳樹(相模原 RC)

「ロータリークラブ 一奉仕プロジェクトを」

ロータリーのビジョン声明は、

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

私たちロータリアンは行動人です。世界を、地域社会をよりよく変えたいという願望があります。ロータリーの奉仕を通じて、有能な、思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。地区内クラブはそれぞれがクラブとしての奉仕プロジェクトを現在も実施、あるいは実施の準備をしているはずです。しかし、あえて地区方針として、「一クラブ一奉仕プロジェクトを」を提案させていただきます。

新しいロータリー戦略計画では、世界各地でより良い地域社会づくりを行う定評のあるダイナミックな団体としてのロータリークラブが評価されている、としています。

今まで以上にクラブとして持続可能な地域社会プロジェクトをすることが奨励されています。新しいアイデアで、地域社会のより広い世代、支援を必要とする人々を巻き込み、つながり合うことのできる新たな地域社会奉仕プロジェクトを企画、立案、実行または継続する奉仕プロジェクトの視点を変えて見直すことはどうでしょう。地域社会からより認知され、支持者、仲間を増やすことは、増強にもつながり、元気なクラブづくりにつながると信じます。

1.RI 会長テーマおよび強調事項の推進

2.RI ロータリー賞への積極的なチャレンジ

ロータリー賞は、クラブ活性化の明確な指標となっている。各クラブが指定された項目をクラブの計画にあげ、受賞資格を得る活動がなされるよう奨励する。

3.新しい RI 戦略計画の推進

*より大きなインパクトをもたらす

参加者の基盤を広げる

参加者の積極的なかわりを促す

適応力を高める

4.会員増強・会員維持・クラブ拡大

*女性会員や 40 歳未満の会員の入会、またローターアクターのロータリークラブへの入会を促す。

*各クラブ 2 名以上の純増を

- *既存会員の維持
- *新クラブ(衛星クラブを含む)の拡大

5.新世代育成の推進

*インターアクト、ローターアクトクラブへの支援および協力の強化。また、ロータリー賞受賞に向け、指定された項目をクラブで実行するよう奨励する。

*インターアクト、ローターアクトの新クラブ拡大

*若い職業人、若い世代のリーダーシップの養成(RYLA の実施)

6.地区ビジョンおよびクラブビジョンの策定の推進

*戦略計画を基礎として、地区およびクラブの中期ビジョンを策定してください。クラブにおいては、戦略計画委員会または長期計画委員会等の委員会を立ち上げ、または活性化して、クラブの将来のあるべき姿を描き、その実現に向けての行動計画を立てていただきたい。

7.奉仕活動推進のためのロータリー財団への年次寄付

*年次寄付 200 ドル以上/1 名

*ポリオ寄付

*恒久基金 1,000 ドル以上/1 クラブ

8.米山奨学会寄付

* 20,000 円以上/1 名

9.公共イメージ向上に向けて

*ロータリーの認識を高め、「世界を変える行動人」(PEOPLE OF ACTION)

キャンペーンを促進する。

2019-20 年度地区に向けて

ロータリーには、ロータリアン共通の目的や指針計として、長い年月をかけて形づくられた基本理念があります。地区方針・目標もこの理念を土台に考えなければなりません。

最初に、ロータリーの目的です。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

第 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とする；

第 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする；

第 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

第 4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること(RI 定款第 4 条、標準ロータリークラブ定款第 5 条)

そして、ロータリアン個人の行動規範として四つのテストがあります。

四つのテスト

ロータリアンが生活や仕事の場面で常に覚えておくべき 4 つの問い、それが「四つのテスト」です。政治や宗教に関係なく、すべての人びとの倫理的指針となるこのテストは、100 カ国以上に翻訳されています。

言行はこれに照らしてから

1) 真実かどうか

2) みんなに公平か

3) 好意と友情深めるか

4) みんなのためになるかどうか

1932 年にロータリアンのハーバート J. テイラーの(後の国際ロータリー会長)により考案された(ロータリー章典 33.070.)

Q 五大奉仕部門

1)クラブの活動の土台となる 5 つの奉仕部門を通じて、地域社会や海外での奉仕に力を注いでいます。

2) 職業奉仕は、すべてのロータリアンが倫理と高潔さを持って仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てることで。

3)社会奉仕は、すべてのロータリアンが、地域社会の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。

4) 国際奉仕は、国際的なプロジェクトでボランティアをしたり、海外のパートナーとの共同活動を通じて、平和と相互理解を推進することです。

青少年奉仕は、ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

クラブ奉仕は、会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うことです。ビジョン声明(2017 年 6 月 RI 理事会にて承認)

「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する社会を目指しています。」

そしてこのビジョン声明を達成、具体化する戦略計画が定められました。

ために戦略計画があります。2019 年 7 月から新たな戦略計画が定められました。

ただし、中核的価値観(Core Values)は不変です。2007年0-タリーは戦略計画の一環として、下の5つの価値観がロータリアンの基本的特徴であるとの理解の下、これらの中核的価値観を採択しました。以来、これらの中核的価値観は理事会によって再び確認され、世界中のロータリアンによって強く支持されています(ロータリー章典 26.010.2.)。国際ロータリーの中核的価値観は以下のとおり。

中核的価値観

親睦(Fellowship)

*高潔性(Integrity)

多様性(Diversity)

奉仕(Service)

*リーダーシップ (Leadership)

新しいロータリー戦略計画(2019年7月より5年間)

ロータリーの戦略計画は、未来の枠組みを設けることで、世界各地でより良八地域社会づくりを行う定評あるダイナミックな団体としてロータリーが評価され続けるようにするものです。

ポリオ撲滅まであと少しのところにあるロータリーは、さらに多くの人の結束を促し、活動のインパクトをたかめ、世界に変化をもたらしていくための新たな道を切り開くときが来ています。そして、次なる戦略計画の土台となる4つの主な優先事項と目的を承認しました。

より大きなインパクトをもたらす

ロータリーは、人びとの生活をより良くするための変化をもたらそうと努力しています。ロータリー会員は、幅広い奉仕活動でのボランティアとなり、資金的なリソースを捧げていますが、今後は活動の結果と成果をより効果的に図っていくこととなります。ロータリーは、入会者、協力団体、寄付者にとって魅力ある団体であり続けるために、プログラムに力を注ぎ、持続的な成果を実証していきます。

目的:

*ポリオを撲滅し、残された資産を活用する

*ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる

*活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

参加者の基盤を広げる

人びとは、世界に変化をもたらす、人間関係を築く方法を求めています。私たちは、人びとが求めていることをロータリーで見つけられるよう、どのように手助けできるでしょうか。その答えは、より多くの人や組織が参加できる独特な機会を創り出すことです。クラブは、これからもずっと大切です。その一方で、全世界に会員基盤を広げるために、より多くの参加者をロータリーに迎え入れる画期的なモデルを使って現在の構造を拡大し、一体となって行動できる意義ある方法を提供していきます。

目的:

*会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する

*ロータリーへの新しい経路を創り出す

*ロータリーの開放性とアピール力を高める

*活動成果とブランドに対する認知を築く

参加者の積極的なかかわりを促す

めまぐるしく変わる現在の世界にクラブが直面している課題を認識しているロータリーは、会員の参加と維持を促すような経験をクラブが提供できるよう支援します。会員に経験と価値を提供できるようクラブを支援することで、ともに奉仕し、人間関係を広げ、より満足のいく経験をロータリーで得られる機会を、ロータリアンや他の参加者に提供することができます。

目的:

*クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する

*価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する

*個人的/職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する

*リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

適応力を高める

ビジョンを達成し、変わりゆく世界的な傾向に追いつくため、構造と文化を進化させていかなければなりません。私たちは、すべての参加者を効率よく、柔軟で、効果的に支援できるような運障とガバナンスの構造を築きます。

目的:

*研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意思を奨励する文化を築く

*ガバナンス、構造、プロセスを合理化する

*意思決定におけるより多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す

19-20 年度ロータリー戦略計画の年次目標

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

優先事項1の目標:人びとが手を取り合うのを促す

1. クラブや地区内のリーダーの積極的参加を促すプロセスを強化する。

2. 既存会員を維持しつつ、さらに入会を促進することで、クラブ会員の増加を図る。
3. 新しいクラブを結成する。
4. 女性会員や40歳未満の会員の入会、またローターアクトのロータリークラブへの入会を促し、会員増強を図る。
5. インターアクト、ローターアクト、ロータリークラブ会員間およびほかのロータリー活動の参加者間の積極的参加・協力を強化する。

優先事項2の目標:行動する

6. ポリオ撲滅活動においてロータリーとロータリアンが果たしている役割を広く伝える。
7. 地区財団活動資金(DDF)を十分活用することで、地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、ロータリー平和センターの資金とし、地域社会および海外でのプロジェクトを増やす。
8. 年次基金とポリオプラスの寄付を増やしつつ、2,025年までに恒久基金を20億2500万ドルまで成長させる。
9. ロータリーの認識を高め、「世界を変える行動人」キャンペーンを促進する。

優先事項3の目標:内部 / 運営的事項

8. 現在のロータリアンのリーダーシップレベルの効果を分析する。
9. プログラムの取り組みに焦点を当て、場合によっては焦点を絞り込む。

